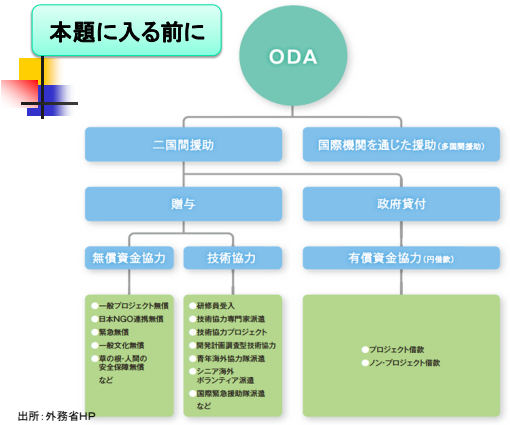
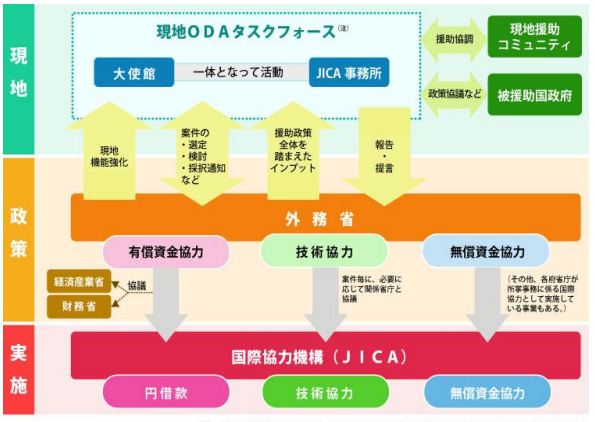
本題に入る前に



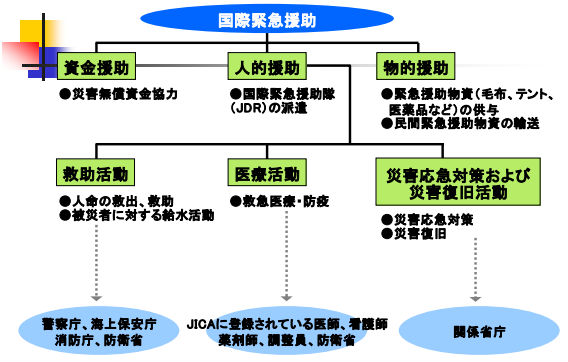
出所：外務省HP



出所：外務省HP

注：一部の無償資金協力については、機動的な実施等外交政策の遂行上の必要に基づき外務省が引き続き自ら実施。

●日本の国際緊急援助体制



中国と「自然災害」

- 四川大地震（汶川大地震）：中華人民共和国中西部に位置する四川省アバ・チベット族チャン族自治州汶川県で、現地時間2008年5月12日14時28分に発生したマグネチュード8の地震。

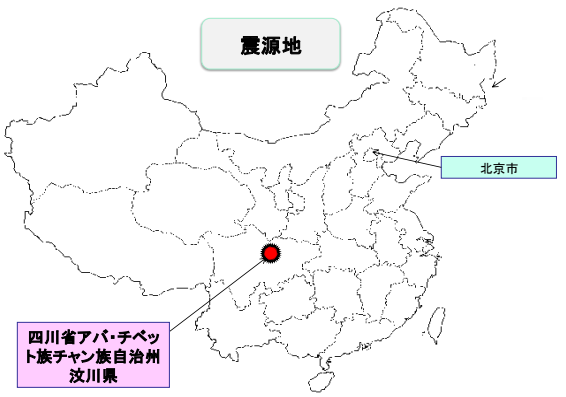
- 地震による犠牲者

	死者	負傷者	行方不明者	時点
四川大地震	6万9227人	37万4643人	1万7923人	2008年9月
東日本大震災	1万5882人	6142人	2668人	2013年3月

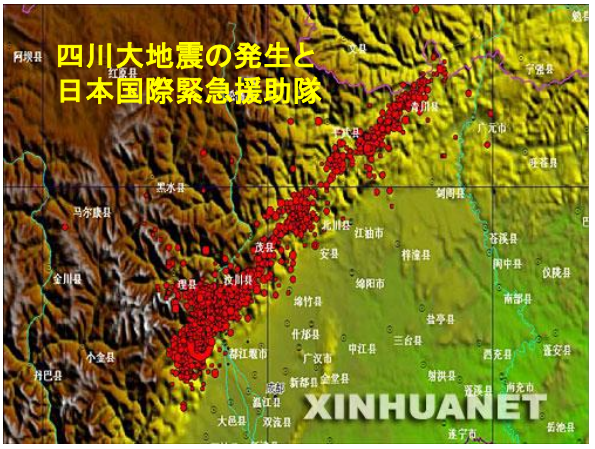
- DVD「愛に国境なし」ー日本国際救援隊と国際医療隊の救援活動記録ー
  →中国側が作成し、胡錦濤国家主席より隊員に贈呈されたもの

5

震源地



6



せき止め湖の決壊警報@北川県

救助チームによる徹夜の捜索活動の様子

発見された犠牲者へ黙祷する救助チーム@青川県

救助活動は、中国・北京市消防隊と連携して実施された。JICAは以前北京市消防隊と技術協力プロジェクトを実施。四川大地震の被災現場でその“絆”が活きた。

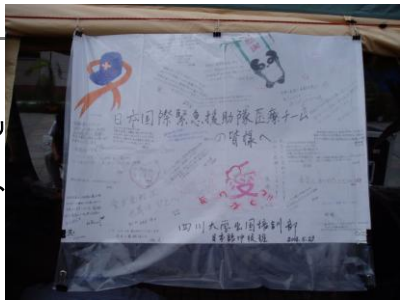
四川大地震＆国際緊急援助@JICA事務所

医療チームの拠点となったテント@華西病院

成都市民から贈られた「日中友好パンダ」@華西病院

●寄せ書きから

- たくさんの命を助けるために、中国が非常に困難なときにわざわざ来ていただき、本当にありがとうございます。
- 私たちに、人間性の中に、最も善良な一面を見させました。
- 日本の人道主義の暖かい気持ちにありがとう。



四川大学学生から贈られた寄せ書き@医療チームテント

医療チームの配員表@華西病院テント内

活動を終えて中国側(右)に挨拶する医療チーム隊員(左)

活動を終了し、華西病院関係者と記念撮影

活動を終えて

活動を終了し、あと片づけ中の医療チーム

四川省政府災害対策本部から贈られた感謝のしるし

北京での記者会見

四川省人民政府から贈呈された感謝の記念品

■所感～「合作・交流型」緊急援助

- 中国側の要望は、被災地から搬送される重症患者が集まる基幹病院への支援
- 中国側のダイナミックな患者搬送能力
- 中国側の要望＝中国側が不足している緊急時災害治療の経験とノウハウ

  →病院内の医療現場における症例検討、アドバイス、日本での方法の紹介、講演等、「合作」または「交流」の形で展開

  →日本側の想定は、野外で、単独で患者の治療にあたるスタイル
- 伝統的な「自力更生為主、争取外援為輔」

  →あくまで自らの力を主とし、外国援助は足りないところを補うため

24

国際緊急援助隊医療チーム・高田洋介さん
「ある日、手招きで私たちを呼んで、体をきれいにしてくれてありがとう、遠く日本から来てくれたことに非常に感謝していると話してくれました。そして、自分がどういう仕事をしていて、今回被災し、けがをして非常につらいということを筆談でいっぱい書き連ねて、そのときに涙を流されていました。こういう話を私がしっかりと受け止めることが、患者さんにとって必要だと思って、じっくりと話を聞かせてもらいました。」

病院前に並んだ担架
一方で、中国の大規模な患者の搬送には驚かされました。高田さんが朝、出動すると病院の前に数百の担架が並んでいて、その脇に数百台の救急車が待機していました。

http://www.nhk.or.jp/kobe/bousaikou/20080609index.html

空港に並ぶ救急車
重症の患者はベッドに寝かせたまま、数百台もの救急車で空港に運びます。そして、2000キロ前後離れた上海や瀋陽などの病院に次々に搬送していました。大規模な災害時の対応として日本でも学ぶべき点があると感じました。（国際緊急援助隊医療チーム・高田洋介さん）

日本国際緊急援助隊医療チーム
患者を他地域の病院へ搬送する。

5月17日，人民解放軍による消毒防疫活動。四川地震の重大被災地である徳陽市什邡市（県レベルの市）にて。

被災地に向けて空中投下される支援物資

2008年7月、洞爺湖サミットで胡錦濤国家主席から直接感謝の意が表される。

2008年11月の被災地。まだ被災民のテントがあちこちで見られた。現在、被災地の森林復旧のための技術協力プロジェクトが実施されている。

大地震後、土石流にも見舞われ、建物の2階まで土砂で埋まった北川県の市街地。

●4つのプロジェクトにより復興支援を展開

東日本大震災は世界からどう支援されたか？

➢**質問：**

〇東日本大震災の際、日本を支援してくれた国を挙げてみましょう。

〇東日本大震災の際、中国は日本にどのような支援を行ったのでしょうか？

〇その支援は、日本国内メディアではどのように取り上げられていたのでしょうか？

33

最も貧しい国々も日本を支援してくれた

- 24ヶ国・地域（イスラエル，イタリア，インド，インドネシア，英国，韓国，豪州，シンガポール，スイス，スリランカ，タイ，中国，ドイツ，トルコ，ニュージーランド，フランス，フィリピン，米国，南アフリカ，メキシコ，モンゴル，ヨルダン，ロシア，台湾）からの緊急援助隊，医療支援チーム及び復旧支援チームが日本に到着，活動
- 調査の結果、人的、物的、金銭的支援を提供した国および個人・団体の属す国の総数は、174ヶ国・地域。金銭的支援は、合計約1,640億円。
- 174ヶ国・地域のうち、119ヶ国・地域が日本のODA対象国であり、35ヶ国がいわゆる最貧国と呼ばれるアジア、アフリカ地域の後発開発途上国（LDC）

出所：国際開発センター「東日本大震災への海外からの支援実績のレビュー調査」2013年3月

34

中国の救助隊、大船渡で活躍

・岩手県大船渡市の消防隊と共同で救助活動に当たった中国の救助隊（左端が中国地震局地震応急救援センター胡傑氏）。
・中国地震局地震応急救援センターはJICAが技術協力中であった。

中国から届いた支援物資

- 12人用テント500張，6人用テント400張，毛布2,000枚，手提げ式応急灯200個
- 水6万本，使い捨てゴム手袋325万組
- 仮設トイレ60個，厚手ゴム手袋1万組，スニーカー2.5万足
- ガソリン1万トン
- ディーゼル油1万トン

出所：外務省HP

胡錦涛国家主席の大使館弔問

左：胡錦涛国家主席　右：丹羽大使

東日本大震災に際しての中国各地からの応援メッセージ@JICA中国事務所

小林さゆりさんブログ『北京メディアウオッチ』2011年4月1日で紹介
http://pekin-media.jugem.jp/?eid=1114

おわりに

- 本当に困ったときに助け合える関係が大事
- お互いに理解し、信頼し、尊敬する関係になりたい
- メディアの報道に流されず、自分で確かめ、自分で考えよう
- 世界とつながることで人生が豊かに

39